

件名 : Kadlec地域医療センター 資金援助(慈善ケア)ポリシー	ポリシー番号 : PSJH RCM 002 Kadlec	
担当部署 : 収益サイクル管理部	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 改訂版 <input type="checkbox"/> 見直し済み	日付 : 2025年1月1日
エグゼクティブ・スポンサー : SVP最高収益サイクル責任者	ポリシー・オーナー : AVPファイナンシャルカウンセリング	
承認者 : SVP最高収益サイクル責任者	制定日 : 2025年1月27日	

Kadlec地域医療センター(以下、「Kadlec」)は、全ての人、特に貧しく弱い立場にある人々にサービスを提供するという使命に専心する非営利の医療機関です。Kadlecは、医療を受けることは全ての人が持つべき権利だと考えています。Kadlecは、医療費を支払う余裕がなくても、地域の誰もが緊急で医学上必要な医療サービスを確実に利用できるようにしています。

範囲 :

本ポリシーは、ワシントン州の全てのKadlec病院に適用されます。それは、全ての緊急、至急およびその他の医学上必要なサービス(ただし、実験的、研究的、美学的もしくは美容的ケアまたは患者もしくは医師の便宜のためのケアを除く)('適格サービス'の定義において定義されたもの)を対象としています。本ポリシーの対象となるKadlec病院のリストは、別紙Aに記載されています。当方が本ポリシーにおいて「病院」または「施設」という用語を使用する場合は、別紙Aに記載された施設の範囲を指します。

本ポリシーは、修正された1986年内国歳入法セクション501(r)、ならびに随時修正された、RCW70.170およびWAC第246.453章に記載された、ワシントン慈善ケア法およびその施行規則の要件に準拠して解釈されるものとします。本ポリシーが法律と矛盾する場合は、法律に従います。

目的 :

本ポリシーの目的は、Kadlecが提供する適格サービスに対して全額または一部を支払う余裕のない適格な個人に対する資金援助の提供について、矛盾のない公平な無差別の方法('慈善ケア'とも呼ばれる)の存在を保証することです。

本ポリシーは、全ての適用法に準拠することを目的としています。これは、ワシントン州の各Kadlec病院の公式の資金援助(慈善ケア)ポリシー(FAP)および救急医療ポリシーです。

責任者 :

収益サイクル部さらに、登録、入院、資金面の相談、患者サポートに関連する職務を遂行する適切なスタッフ全員は、本ポリシーに関する定期的なトレーニングを受けます。

ポリシー :

Kadlecは、本ポリシーに定められた基準に従い、申請書を提出するか、または慈善ケアに適格と見なされる適格患者に、適格サービスを無償またはより低い費用で提供します。患者は適格となるために、本ポリシーに記載された適格性要件を満たす必要があります。本ポリシーの目的上、「患者」という用語は、患者だけでなく、保証人または責任がある当事者(すなわち、第三者によって支払われていない施設料金を患者に代わって支払う責任を負う個人)を指すためにも使用されます。

Kadlec病院の救急部門は、個人が資金援助に適格であるか否かに関わらず、救急部門の利用可能な能力に応じた救急医療状態(救急医療および労働法およびワシントン行政法の第246-453-010章の意味の範囲内)のケアを提供します。Kadlecは、資金援助の判定を行う際に、年齢、人種、肌の色、信条、民族、宗教、国籍、配偶者の有無、性別、障害、退役軍人もしくは軍人の地位またはこれらの組み合わせ、または連邦法、州法もしくは地方法で禁止

されているその他の基準に基づいた差別を行いません。性差別には、半陰陽の特徴、妊娠または関連疾患、性的指向、性同一性、および性の固定概念を含む性徴が含まれるが、これらに限定されません。

Kadlec病院の救急部門は、緊急医学的スクリーニング検査と安定化治療を提供するか、または適切な場合には、患者を別の病院に紹介し転送しますKadlecは、緊急医療の提供を妨げる債権回収活動の許可など、個人が緊急医療を求める思いとどまらせるような行為、入院慣行または方針を禁止しています。

KadlecのFAPの対象となる専門家のリスト：

Kadlecの各病院には、本ポリシーの対象となる、および対象とならない医師、医療グループまたは医療提供者のリストがあります。Kadlecの各病院は、コピーを要請する全ての患者にこのリストを提供します。医療提供者のリストは、オンラインの Kadlec のウェブサイトでも検索できます。 [Kadlec Bill Pay | Providence.](#)

資金援助の適格性要件：

無保険患者と保険加入患者の両方は、本ポリシーの要件を満たす場合、資金援助が受けられます。本ポリシーに従って提供される慈善ケアは、患者に許容される給付金に関するその他の法律にも準拠することを目的としています。Kadlecは、患者への請求前に、適格サービスの費用を補償し得る他の保険の有無を確認するために努力します。患者は資金援助についての審査前に、第三者の医療支援プログラムを申請する必要はありません。

患者がRCW第74.09章に基づく医療支援プログラムもしくはワシントン州医療給付金交換制度による保険を受ける資格がある場合、またはRCW第74.09章に基づく医療支援プログラムによる遅延的な医療保険補償を受ける資格があると判定された場合、Kadlecは当該保険補償の申請について患者を支援します。患者が当該保険補償の申請時に、Kadlecに対して協力し、支援をするための合理的な努力をしない場合、資金援助は拒否されることがあります。Kadlecは、申請手続きを遵守する能力を妨げる可能性のある身体的、精神的、知的もしくは感覚的な欠陥または言語の障壁を考慮して、資金援助および遅延的保険補償の申請手続き中に患者に不当な負担をかけません。州または連邦政府のプログラムに明らかに、もしくは断定的に不適格であるか、または過去12ヵ月間に不適格と見なされた患者は、資金援助を受けるために当該プログラムに申請する必要はありません。

無保険患者は割引を受けることになります。資金援助調整に適格になる可能性がある請求書の種類には、自己負担、ネットワーク外の保険補償を有する患者に対する料金、ならびに保険加入患者に関する共同保険、控除額および共同支払額が含まれますが、これらに限定されません。

資金援助を求める患者は、標準のKadlec資金援助申請書の全ての項目に記入することができる上、適格性は、より低い所得額および最大の経済的必要性を示す、サービス日現在または申請日現在の経済的必要性に基づきます。

患者は、以前の申請が拒否または部分的に承認された場合でも、経済状況が変化した場合には援助を再申請することができます。患者がアクセスできる請求エリア（登録カウンターなど）における患者の請求明細書上で、支払いに関する話し合いの際に口頭で通知することによってKadlecのウェブサイト上で、および患者が入院または登録されるエリアおよび救急部門を含む入院・外来エリアの標識上で、入退院時に情報を提供することによって、資金援助の利用可能性について患者に知らせるために努力が払われます。病院のサービスエリア内の5パーセントを超える人々が話す任意の言語で翻訳が利用可能になります。Kadlecは、資金援助の適格性を判定するために使用された情報の記録を保管します。Kadlecは、要請に応じて本ポリシーの紙面コピーを患者に提供します。

Kadlecはまた、患者が本ポリシーの後半で詳述する要件を満たしている場合、全ての項目が記入された資金援助申請書以外の方法による口座残高の慈善調整も特定の患者に承認します（「資金援助申請書なしの資金援助」を参照）。

初期審査： Kadlecは、直接対応する各患者に初期審査を提供します(すなわち、対面、電話またはデジタル)。

初期審査は、世帯規模と世帯所得に関する患者の表明に準拠します。

- 初期審査に準拠して患者が資金援助を受ける資格を有する可能性があると思われる場合、Kadlecは患者にその適格性の可能性を伝え、資金援助申請書を提出することによって資金援助を申請する方法について、患者に指示を与えます。Kadlecはまた、債権回収活動を止めるために、全ての項目が記入された資金援助申請書を14日以内にKadlecに提出する必要があることを患者に通知します。全ての項目が記入された資金援助申請書がその期間内に提出されない場合、Kadlecは、患者が期間の延長を求める限り、債権回収活動を開始できます（「資金援助の申請」を参照）。
- 患者が資金援助を受ける資格がないと思われる場合、Kadlecはその判定を書面で通知することにより、そ

の旨を患者に知らせます。Kadlecはまた、患者が経済状況のより徹底的な見直しのために、全ての項目が記入された資金援助申請書を依然として提出できることも患者に通知します。

Kadlecは、公的に利用可能な財務記録またはその他の記録に基づいて支払能力を評価する業界で認められた財務評価ツールも使用し、そのツールが患者が資金援助に不適格である可能性を示している場合でも、初期審査を実施します。

Kadlecが患者と直接対面していない場合、患者が医学的に初期審査に参加できない場合、または初期審査が状況的に実務的でない場合、Kadlecは、申請方法の指示書を含む資金援助の利用可能性に関する説明書を患者に提供します。この説明には、資金援助申請書のコピーとともに、資金援助申請書の全ての項目に記入する際に患者を支援できるKadlecの担当者の連絡先情報も含まれます。

患者が初期審査において拒否するか、または協力しないとはいえる、資金援助の申請に興味を示すか、または支払時に困難を経験する可能性があることを示した場合、Kadlecは申請方法に関する指示書とともに、資金援助の利用可能性についての説明書を患者に提供します。

状況および/または患者の好みに応じて、Kadlecは、デジタル・インターフェースを含むがこれに限定されない様々な手段を介して患者とコミュニケーションすることができます。

資金援助の申請： 患者は、Kadlec施設において無料で入手可能な資金援助申請書を要請して提出できます。または退院時もしくは退院前に患者の財務サービススタッフに援助を要請することを伝えるか、郵送によるか、またはwww.providence.org/financialhelpのウェブサイトの閲覧により、同様にできます。人々の資金援助の申請は、本ポリシーに定められた資金援助基準を満たすことができるか否かを判定するために処理されます。

Kadlec施設は今までに、患者が資金援助申請書の全ての項目に記入し、Kadlec自体または政府が資金を提供する保険プログラムからの資金援助を受ける資格があるか否かを確認するのを支援できるスタッフを指名しています。質問に対処し、かつ資金援助申請書の全ての項目に記入することを支援するために、言語翻訳の支援もご利用いただけます。

患者は、要請された全ての証拠書類を含む、全ての項目が記入された資金援助申請書をいつでも提出できます。Kadlecは、患者が最初の判定に達するためのKadlecの合理的な努力に協力的であることを条件として、資金援助の適格性の最初の判定を待つ間、如何なる債権回収活動も停止します。患者がKadlecに連絡して、資金援助申請書の全ての項目に記入するために追加の時間を要請した場合、Kadlecは、患者の要請日から少なくともさらに14日間は債権回収活動を開始しません。

資金援助の適格性判定は、別紙Bに詳述された所得条件に従って行うことができます。Kadlecが患者の資金援助申請を承認した場合で、患者が資金援助を最早、必要および/または希望しないことをKadlecに通知しない限り、Kadlecは少なくとも9ヶ月間、患者が受ける「適格サービス」を資金援助の適格性があるものとして扱います。

個人の経済状況： 患者の所得、特定の資産および経費は、患者個人の経済状況を評価する際に使用されます。さらに、Kadlecは、メディケアの原価報告に対するメディケアサービスおよびメディケイドサービスの各センター(CMS)の要求に応じて資産に関する情報を検討、収集し、これがメディケイド保険にも未加入のメディケアの患者に適用されます。Kadlecは、銀行取引明細書やKadlecの財務相談役が必要と考えるその他の情報を含む資産情報をそのような個人から収集する一方、当該資産の全てが最終裁定額に算入されるわけではありません。例えば、裁定額の計算では次の各項目は考慮されません。**(A)** 患者の金銭的資産のうち最初の10万ドル(該当する場合は家族の資産を含む)、および最初の10万ドルを超える患者の金銭的資産の50% (該当する場合は家族の資産を含む)、**(B)** 主たる住居の持分、**(C)** 内国歳入法に基づいて適格とされる退職年金制度もしくは繰延報酬制度または非適格繰延報酬制度、**(D)** 1台目の自動車および雇用または医療のために必要な場合には2台目の自動車、**(E)** 前払式埋葬契約または埋葬区画、ならびに**(F)** 額面金額が1万ドル以下の生命保険証券期日前解約に対する違約金のある資産価値は、違約金が支払われた後の資産価値であるものとします。資産を確認するためのKadlecから責任がある当事者への情報の要請は、個人資産の存在、利用可能性、価値を判定するために合理的に必要かつ容易に入手可能なものに限定され、無料または割引のケアへの申し込みを妨げるために使用されることはありません。重複した確認の書式は要請されません。金融資産を確認するために、1つだけの当座預金明細書が必要になります。Kadlecは、証拠書類

が入手不可能な場合、患者からの署名された明細書に依存します。慈善ケアのために患者を評価する際に病院が取得した資産情報は、債権回収活動には使用されません。また、CMSがメディケアの費用報告のために要求しているように、メディケア保険にも未加入のメディケア患者を除き、連邦政府の貧困レベルの300%未満の世帯の資産は検討されません。

所得資格認定 : FPLに基づく患者の所得は、資金援助の適格性を判定するために使用できます。詳細については別紙Bを参照してください。

適格性判定 : 患者は、全ての項目が記入された資金援助申請書と必要な証拠書類の提出から14日以内に、FAPの適格性判定の通知を受け取ります。その通知には、判定の根拠の説明が具体的に含まれます。申請が一旦受領されると、適格性判定の書面が患者に送られるまで、債権回収活動は保留になります。Kadlecは、病院が不正確または信頼できないと合理的に考える情報に基づいて援助の適格性を判定しません。

紛争の解決 : 資金援助申請書への記入を完了した患者は、拒否通知を受け取ってから30日以内にKadlecに関連する追加の証拠書類を提出することにより、資金援助不適格の判定に対して不服申し立てを行うことができます。患者は自らの不服申し立ての裏付けとして、関連する追加の証拠書類の提出が必要になる場合があります。Kadlecは不服申し立ての審査を待つ間、如何なる債権回収活動も一時停止します。不服申し立ては全て審査され、審査の結果として拒否が確認された場合は必要に応じて、法律に従って通知書が患者および州保健省に送付されます。最終不服申し立て手続きは、Kadlecによる拒否の受領から10日以内に終了します。不服申し立てはKadlecの次の宛先に送付することができます。PFS, 888 Swift Blvd, Richland, WA 99352

資金援助申請書なしの資金援助 : Kadlecは、以下の状況において概説されたように、全ての項目が記入された資金援助申請書なしで、患者の口座残高に対する推定上の調整を承認することができます。

- **推定上の判定 :** 当該判定は、別紙Bに記載された適格基準に従って、概算の世帯所得および世帯規模を含むがこれらに限定されない、公的に利用可能な財務記録またはその他の記録に基づいて支払能力を評価する、業界で認められた財務評価ツールを用いて推定に基づいて行われます。この審査に基づいて債務償却の対象になると推定的に判定された患者については、別紙Bに示されているように、適格金額が債務償却されます。Kadlecが資金援助に推定的に適格であると判定する前に支払いを行った患者は、以前に支払った金額の払い戻しの適格性の評価を受けるために、全ての項目が記入された資金援助申請書の提出を要求される場合があります。
- **公的援助プログラム :** 州のメディケイドというプログラムに参加している患者は、推定上の援助に対して適格です。メディケイドまたはその他の政府支援の低所得支援プログラムによって払戻不可能な適格サービスの料金から生じる患者の口座残高は、次の各項目に関連する適格サービスの払戻不可能な料金を含むが、これに限定されない全額慈善債務償却に適格となる場合があります。
 - 入院拒否
 - 入院治療日数の拒否
 - 対象外のサービス
 - 事前の承認要請の拒否
 - 保険補償の制限による拒否

州が資金を提供するFPL認定公的援助プログラム(例えば、補助栄養支援プログラム(SNAP)、生活困窮者一時支援(TANF)、児童健康保険プログラム(CHIP)、女性・乳幼児・児童プログラム(WIC)、無料の昼食または朝食プログラム、および低所得家庭のエネルギー支援プログラム)に参加している患者については、Kadlecは、別紙Bに基づいて推定上の援助の適格性を判定するために、そのような参加をFPLまたは年回家計所得の証明と見なすことができます。

高額医療費 : Kadlecは、患者の年間家計所得および過去12ヶ月間のKadlec施設での総医療費が別紙Bに規定された要件を満たしている場合、患者の状況に基づいて、または高額医療費が発生した場合に、追加の支援を行うために、Kadlecの裁量により資金援助を認めます。高額医療費の適格性を評価を受けるために、全ての項目が記入された資金援助申請書が必要です。

緊急時 : 国家または州の緊急事態の際には、高額医療費に対する支援とは別に、資金援助が利用できる場合があ

ります。適格性の基準額および割引額は、当該緊急時にはKadlecの裁量で設定されます。緊急時の資金援助適格性の評価を受けるために、全ての項目が記入された資金援助申請書が必要です。

適格性要件：Kadlecは、患者が本ポリシーに概説された要件を満たしていない場合、患者の資金援助申請を拒否することができます。Kadlecは州法に従い、RCW第74.09章に基づく医療支援プログラムによる遅延的医療保険補償の申請を容易にするために、必要に応じて患者が要請に応じることを含むがこれに限定されない、資金援助申請のない資金援助判定のための適格性要件を課すことができます。患者は、全ての項目が記入された資金援助申請書なしで検討した情報に基づき、資金援助を受ける資格がない場合でも、資金援助申請書に従って必要な情報を提供し、本ポリシーに定められた資金援助の適格性および申請手続きに基づいて検討してもらいます。

資金援助に適格な全ての患者に対する請求額の制限：上記の資金援助カテゴリーの何れかに該当する患者は、以下に定義された総費用の通常請求額(AGB)の割合を超えて請求されることはありません。

合理的な支払計画：資金援助の判定または申請に関係なく、全ての患者が支払計画を要請できます。この支払計画は、患者が資金援助申請書に記載された通常の生活費を除く、患者または家族の月間所得の10%を超えない月々の支払い（利息や延滞料を除く）を含みます。

請求と債権回収：適格な資金援助の申請後に支払残額ある場合、その金額は債権回収対象になることがあります。ただし、Kadlecはメディケイドの患者に提供された適格サービスの金額を債権回収対象にしません。Kadlecは債権回収対象の未払料金を債権回収代行業者に照会する前に、患者が本ポリシーに記載され通りに、資金援助を受ける資格があるか否かを判定するための審査を実施します。資金援助の適格性の最終判定を待つ間、未払残高の債権回収活動は停止します。個人が今までに、資金援助申請書を提出していない場合、Kadlecは適用される州法およびKadlecの請求・債権回収慣行に準拠した期間内に、推定上の判定の適格性について当該個人を審査します。推定上の判定に基づく資金援助は、別紙Bに定められた通りに提供されます。個人が資金援助の適格性の早期判定を希望する場合は、いつでも資金援助申請書を提出することができます。Kadlecは、以下に定義されたように、臨時債権回収措置を講じないか、または債権回収代行業者が当該措置を講じることを許可しません。Kadlecの請求および患者の未払金の回収に関する情報については、Kadlecのポリシーを参照してください。本ポリシーは、Kadlecの各病院の受付窓口または次のウェブサイトで無料で入手できます。[Kadlec Bill Pay | Providence](#)

患者への払い戻し：患者が適格サービスに対して支払いを行い、その後、資金援助の申請に基づいて資金援助の適格性があることが判明した場合、FAP適格期間中に適格サービスに対して支払われた支払いのうち、支払義務を超えるものは、州および連邦の法令に従って払い戻されます。明確にするために、Providenceは、推定上の適格性判定に基づいて以前に支払われた金額を自動的に払い戻すことはありません。

年次見直し：本ポリシーは、指定された収益サイクルの指示によって毎年見直されます。

例外：

上記の範囲を参照してください。

定義：

本ポリシーには次の定義と要件が適用されます。

1. **連邦貧困レベル(FPL)：**FPLとは、米国保健福祉省によって連邦官報で定期的に更新される貧困ガイドラインを意味します。
2. **通常請求金額(AGB)：**健康保険を有する患者に対する救急治療および他の医学上必要なケアの通常請求金額は、本ポリシーではAGBと呼ばれます。Kadlecは、各Kadlec施設に適用されるAGB割合を、適格サービスに対する施設の総料金に、メディケアまたは商業支払者の下で許可されている請求に基づく固定割合を乗算して決定します。Kadlecの各施設で使用されるAGBの割合とその計算方法を詳述した情報シートは、次のウェブサイトを閲覧することにより入手できます。www.kadlec.org/obp または**1-509-942-2626**に電話してコピーを要請してください。

3. 適格サービス： 適格サービスとは、Kadlec施設が提供する、資金援助に適格な緊急サービスまたは医学上必要なサービスを意味します。本ポリシーの目的上、医療上必要なサービスには、病気、傷害、健康状態もしくは疾病、または病気、健康状態もしくは疾病の症状を予防、診断または治療し、かつ医療の許容基準を満たすサービスが含まれます。美学、美容、実験、調査もしくは臨床研究プログラムの一部であるサービス、または患者もしくは医師の利便性を目的としたサービスは、医学上必要なサービスとは見なされません。
4. 臨時債権回収措置(ECA)： ECAは、法的または司法的手続きを必要とする行為として定義されており、他者への債権の売却や信用機関や信用調査機関への不利な情報の報告が含まれます。この目的のために法的または司法的手続きを必要とする訴訟には、先取特権、不動産の差し押さえ、銀行口座またはその他の個人財産の差し押さえ、個人に対する民事訴訟の開始、個人の逮捕を引き起こす行為、個人を肉体に執着させる行為、そして給料の差し押さえが含まれます。
5. FAP適格期間： FAP適格期間は、(i) 病院サービスの場合は240日間、(ii) 診療所サービスの場合は90日間で、いずれの場合も患者はKadlecに資金援助申請書を提出する必要があります。その適時は、退院後の最初の請求書が患者に提供された日から開始されます。請求書は、入院患者か外来患者かを問わず、患者が治療を受け、施設を退院した後に患者に提供される場合、「退院後」の請求書と見なされます。個別のFAP適格期間はケアエピソードごとに開始され、病院サービスの場合は240日間、診療所サービスの場合は90日間の期間が、最新のケアエピソードの退院後の最初の請求書から始まります。とは言え、Kadlecはいつでも患者からの資金援助申請を受け付け、処理する裁量権を有します。

参考文献：

内国歳入法セクション 501(r); 26 C.F.R. 1.501(r)(1) - 1.501(r)(7)
ワシントン行政法 (WAC) 第 246 ~ 453 章
改定ワシントン法典 (RCW) 第 70.170 章
緊急医療および労働法 (EMTALA)、42 U.S.C. 1395dd
42 C.F.R. 482.55 および 413.89
アメリカ病院協会のチャリティガイドライン
無保険ガイドラインに対するProvidenceの取り組み
医療提供者償還マニュアル、パートI、第3章、セクション312

別紙A - 対象施設リスト

Kadlec地域医療センター

明確にするために、本ポリシーは、全ての対象施設の入院・外来部門および診療所にも適用されます。さらに、本ポリシーは、対象施設の従業員、およびKadlecが過半数を所有または管理し、Kadlecの名を有する非営利事業およびその各従業員にも適用されます。

別紙B - Kadlecの所得資格認定

もしも...	そうであれば ...
家族規模に応じて調整された年間家計所得は、現行のFPLガイドラインの300%以下です。	患者が経済的に困窮していると判定され、適格サービスの患者負担額の100%債務償却の資金援助を受ける資格があります。
家族規模に応じて調整された年間家計所得は、現行のFPLガイドラインの301%~400%です。	患者は、適格サービスに対する患者負担額について、元の料金から76%の割引を受ける資格があり、如何なる場合でもAGBの金額を超えて請求されません。.
家族規模に応じて調整された年間家計所得がFPLの400%以下であり、かつ、患者が過去12カ月間にKadlec施設で、適格サービスのために家族規模に応じて調整された年間家計所得の20%を超える総医療費を負担したことがある。	患者は、資金援助申請書の提出日現在における適格サービスの患者負担額の100%が債務償却される、高額医療費に対する資金援助の1回限りの承認を得る資格があります。
患者は、本ポリシーに概説された全ての項目が記入された資金援助申請書を未提出でも、業界で認められた財務評価ツールによる分析で、家族規模に応じて調整された概算の世帯所得が現行のFPLガイドラインの300%以下であると推定される場合、	患者は、適格サービスに対する患者負担額の100%の債務償却による資金援助に適格であると推定されます。